

皆さまと豊かな
時間を過ごし

アートの実践を深める

—— 英国国際会議（オンライン）にて当院の芸術文化の取り組みを発表 ——

CULTURE HEALTH & WELLBEING INTERNATIONAL CONFERENCE AND EXCHANGE （文化・健康とウェルビーイング 国際交流会議）

2021.06.22~24 ARTS & HEALTH SOUTH WEST 主催
ARTS COUNCIL ENGLAND 共催

〈発表タイトル〉

『Beyond Inequity—Our Expressions through Art』
（不平等を超えて—アートを通じた私たちの表現）

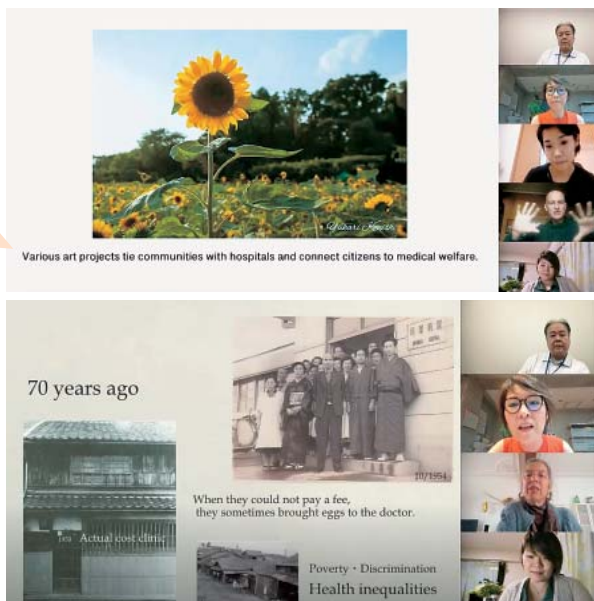
〈発表者（敬称略）〉

近畿大学文芸学部教授	森口ゆたか
同仁会副理事長・みみはら在宅クリニック所長	奥村 伸二
耳原総合病院アートディレクター	室野 愛子
同時通訳	貝原 加珠

当院の「ホスピタル・アート」の導入は2013年、今では日常的に文化芸術活動が行われている（日本においては）希少な病院です。アート活動の多くが、職員や地域住民が参加して創られていることも、更に希少性を高め、注目を集めています。私たちは、職種や経験年数、患者か医療者かの垣根なく語り合い、共同で表現を行ってきました。それぞれが抱える複雑な物語を、アートが表現しうることを期待し、継続表現してきたのです。このたび開催されたオンラインでの国際会議において、日本からの2発表のうちの1つにお声がけがあったのは、そのような背景があったからでしょう。

私たちがからの発表内容には、患者さんと友の会の方の生のご意見やインタビューのご協力も得られ、50分もの間、世界に発信、様々な国の方々と交流することができました。

その他、様々なアートのプロジェクトは、地域と病院、市民と医療福祉を繋ぐ可能性について期待されています（英文の訳）



▲オンラインの様子

0以上のライブセッションがありました。国際的には、健康や幸福のそばに芸術表現があることは、ごく自然な暮らしの営みのように感じました。皆さんが日々の暮らしの中でそっと口ずさまれる歌、幼い頃に習っていたピアノ、少し得意な書道、実は詠める詩などを、私たちはとても大切に思っています。これからも芸術文化を傍に、皆さまと豊かな時間を過ごしながら、アートの実践を深めていきたいと思えます。

3日間に及ぶこの国際会議では、約20カ国から200以上の発表、100以上のライブセッションがありました。
（耳原総合病院 アートディレクター 室野 愛子）

2021年10月より、 事務制服が新しくなります

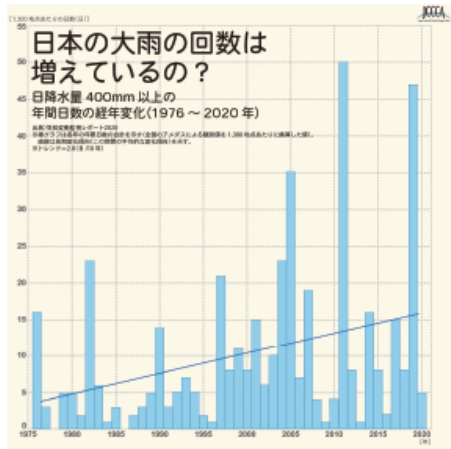
事務の制服変更は5年半ぶりとなり、今までの事務制服とは少し違ったスタイルになっているので、ご紹介します。



新しい事務制服は、医療スタッフとしての機能性や多様性への配慮、ジェンダー平等を意識して検討されました。トップス、ボトムスともに男女兼用となっており、着用者はシャツのカラーを自由に選択できます。「多様性」を認める新しい事務制服となっています。

4つのステートメント(案)

気候変動と人権
弱い立場に置かれた人々ほど
大きな影響を受ける



地球温暖化に伴う気候変動は、地球にさまざまな影響を及ぼしています。温室効果ガス排出量は、18世紀の産業革命以前と比べて、この200年間で30倍以上の増加となっており、特に近年いっそう上昇しています。これにより地球の平均気温は、ここ100年で1℃上昇しており、現在のペースで温室効果ガスが増え続けると、2100年には平均気温が、約2℃上昇すると予測されています。

この地球温暖化により、豪雨や猛暑、干ばつなどの気候危機は続き、それに伴う災害はこれまでとは比較にならない規模で年々激し

くなっています。2019年に開催された国連気候変動枠組条約第25回締約国会議（COP25）では、現在の地球環境が絶対的、かつ逆行できないもので、このことにより何百万人もの人権への悪影響を及ぼすという、重大な報告がされています。

気候変動は、地球にさまざまな影響を及ぼしています。温室効果ガス排出量は、18世紀の産業革命以前と比べて、この200年間で30倍以上の増加となっており、特に近年いっそう上昇しています。これにより地球の平均気温は、ここ100年で1℃上昇しており、現在のペースで温室効果ガスが増え続けると、2100年には平均気温が、約2℃上昇すると予測されています。

4つのステートメント(案)

- * 同仁会はジェンダー平等の社会を推進します
- * (仮称)性の多様性を認め合える組織へ
- * 互いを尊重しあい、ハラスメントが発生しない職場づくりをめざそう
- * 平和、地球環境、人権を守る運動を現場・地域から広めよう

核兵器禁止運動とともに、地球の住民として地球環境、人権を守る先頭に立つことが求められています。

（社会医療法人

同仁会 副理事長

土井 康文